

彙報

●京都帝國大學文學部史學

大正十一年度講義題目

正科目

(國史)

普通 國史概説(中世及近世)

國史概説(古代)

特殊 貞永式目追加の研究

國史地理(行政區劃ノ沿革)

朝鮮史

演習 室町時代の庶民文化

平安朝時代の社會狀態

(支那史東洋史)

普通 東洋史概説(古代)

東洋史概説(中世)

東洋史概説(近世)

特殊 支那の繪圖

支那史外國資料

西域史

支那考古學

演習 日知錄に就きて

三浦 教授

喜田 教授

三浦 教授

喜田 教授

同 教授

今西助 教授

三浦 教授

喜田 教授

内藤 教授

桑原 教授

矢野 教授

内藤 教授

矢野 教授

羽田助 教授

濱田 教授

桑原 教授

内藤 教授

考察する處あり、餘論として如上の事實を遺物と對比するに於いて、その間自ら我が上代外來文化と固有の文化との區別の認めらるゝものあり、また古墳の分布よりして皇威發展の迹を徴すべきものあるを云へり。本文四六版百三十頁の小冊子なるが、文中拂むに多數の參考圖を以てし、簡潔なる記述の間に近時大いに開明せる斯學の業績を録せるを以て、一讀我が古墳墓に關する正確なる智識を得べく、また行間古墳を通じて我が上代文化を髣髴せしめんとする著者の用意の窺はるゝものあり、蓋し近時の考古學界に於ける特記すべき述作の一ならむ。たゞ其の用紙粗惡なる爲挿圖多く明瞭を缺くを憾みなす。

(定價一、〇〇、東京國史講習會)〔梅原〕

(西洋史)

普通 西洋史概説

特 殊 世界大戦史
以太利考古史
基督教會と欧州中世の政治及文化

演習

坂口 教授

(最近世史)

普通 最近世史

(史學研究法)

普通 史學研究法

(地理學)

普通 地理學通論
人文地理學

特 殊 經濟地理資料解説
地理學史
地質學概論

演習

副科 目

古文書學

考古學通論

人類學

露語讀本
露語文料

坂口 教授

濱田 教授

植村助 教授

原口 教授

原 教授

原 教授

小川 教授

石橋 教授

同 教授

同 教授

同 教授

中村 講師

濱田 教授

足立 教授

日時 講師

●日英關係史料展覽會

英國皇儲殿下の京大に行啓遊ばされたる際京郡大學にては海外交通に關する史料其他を本部樓上に陳列して台覽に供したるが當時蒐集せる資料の内場所の關係其他の事情の爲め陳列する能はざりしもの尠からざりしを以て京大圖書館にては五月十二二十三兩日學内尊攘堂に於て日英關係史料展覽會を開催し一般の縦覽に供したり陳列の史料は慶長年間より明治初年代に互り(一)日英交通に關する史料(二)本邦にて編著譯述又は刊行せられたる英國志類(三)英吉利語學書類(四)英國名著の翻譯書(五)英國にて出版せられたる日本に關する古書類(六)幕末及明治初年頃英人の日本にて發行せる新聞紙類(七)英人の風俗を描ける日本版畫等に分ち約三百點に達したりその内主なるもの左の如し。

- アダムス書翰 ○セーリス航海記 ○コックス日記 ○異國日記 ○婆心秘稿 ○英國往復書翰綴込(明治元、二年)
- 英吉利官吏往復書(文久二年至元治元年) ○慶應元年大阪御詔アームストロング御用留 ○嘉永以前イギリス

船渡來ノ際長崎港警備圖○諸厄利亞國語和解(文化八年本木正榮編)○諸厄利亞語林大成(文化十一年本木正榮等編)、エゲレス語辭書和解(嘉永四年西成量等編)○漂流紀事、魯敏遜漂行紀略○智環啓蒙(三種)○胸肉の奇訟(明治十年「民間雜誌」所載)○曆象新書○舍密開宗○ミル自由之理○ベンザム民法論綱及刑法論綱○スペイン社會學○萬國新聞紙(ペーリー編)○カロン、ブレニウス、モンタヌス、ケンベル等の日本紀事。

●史學研究會

例會 五月十三日午後一時三十分より文學部第五教室に於て開催左の意味の講演あり。

一、古事記の干支に就て

會員 文學博士 原 勝郎君

眞福寺本古事記の干支が後人研究の結果書き加へたるものなることを論じ、一々について考證説明せり。

一、歐洲東洋學界管見

會員 文學士 羽田 亨君

現今歐洲斯界の趨勢にカタログ式の研究態度の非常に

流行せることは著しき現象にして、一書を讀むにも其の

結果を空しからしめざる爲、必ず其の書中の重要事項、注意すべき問題を目録に録して之を整理分類し以て研究の資に充てむせり、但し其の方法の形式に至りては別に共通せる基範的のものなく各人各個に之を考へて配列せむとする風なり。其の困學の狀は實に吾人等の他山の石たるべしと雖も、概して本文批評に顧慮を拂はざるは重大なる缺陷あるを感ぜざるを得ず。次に觀覽調査せし主なる史料は大英博物館、インヂアンオフヒス圖書館、東洋學校にてシユタイン博士の將來品を見たるが、ジャイルス氏専ら之が整理に従ひ世界大戰の爲に中斷せられて容中に收藏せられたるもの多く、將來の調査に俟たざれば、之を研究の實用に供することは不可能なる状態に在り。佛國に渡りてペリオ氏の蒐集品を見たるが、ピブリオテーク、ナシヨナル圖書館には文書多く、ルーブル博物館に繪畫多し、ミユゼー・ギメーの陳列品と共に貴重なる史料を見たることを述べられ、尙ほ獨逸の事情に及ばれたり。

當日は其の苦心複寫將來せられし此等諸蒐集品の一部

分の寫眞を展觀に供し來會者七十名、午後五時散會す、今其の陳列寫眞等の目を左に録し大方の參攷に供す。

(一) 華夷譯語

巴里亞細亞協會藏陳履平訂本 ○大英博物館藏版本 ○柯劭忞藏明抄本 ○倫敦ユニブライシテイマレヂ藏、諸國譯語 ○內閣文庫藏本 ○涵芬樓叢書本

(二) 史 書 類

史記斷簡 ○漢書斷簡 ○同 ○異本普書新簡 ○史書斷簡 ○同 ○唐職官表

(三) 文 書 類

敦煌陰氏索氏家譜 ○天寶六載籍 ○乙亥年十一月十六日奏 ○乾寧六年十月廿日帖 ○丙寅年四月十六日轉帖 ○壬午十二月同 ○百姓章午牒 ○百姓郭致子啓 ○天福七年十一月廿三日曹元深疏 ○沙州節度使曹議全疏 ○常樂副使田員宗啓 ○歸義軍節度使文書 ○白玉團賜河洲節度使男全公…………

(四) 地 志 類

唐光啓元年寫地志殘卷 ○敦煌錄 ○西天路竟 ○諸道山河

地名要畧第二 ○沙州都督府圖經殘卷 ○漢乾祐二年編沙州地方志殘卷 ○地志殘卷 ○慧超往五天竺國傳

(五) 佛 典 類

唐咸通九年刻金剛般若波羅密經 ○魏正光二年寫大方等陀羅尼經 ○西藏僧法成譯釋迦牟尼如來像法滅盡之記 ○漢文俱舍論實義疏 ○ウイグル文字古トルコ文俱舍論實義疏 ○同天地八陽神咒經異本 ○同佛典 ○同佛典 ○同無量壽經斷簡 ○ソグド文佛典 ○同佛名并陀羅尼 ○同佛典 ○同

(六) 曆 類

七曜曆日 ○貞明八年具注曆斷簡 ○雍熙三年具注曆 ○占曆斷簡

(七) 語彙、韻書類

蕃漢對譯語彙斷簡 ○同 ○語彙 ○切韻

(八) 詩文、墓誌等

漢妃降嫁回鶻詩記 ○文集殘卷 ○陰善雄、羅盈達、張懷慶等墓誌 ○唐故河西歸義軍節度押衙……………渾命遼眞讚 并序 ○敦煌張氏墓誌

(九) 漢文以外の文記類

エニセイ文字古トルコ文道徳書 ○同書願 ○同旅券下附
名錄 ○同書籍斷簡 ○同賣買契約證 ○ソグド文書斷片 ○
アラム文字文書斷片

(十) 追 加

願愷之女史箴圖 ○古拓化度寺碑 ○吐魯番出土唐斷碑 ○
春秋穀梁傳 ○道教經典 ○書籍斷簡 ○樂方書殘卷

● 讀 史 會

例會 三月十八日(土曜日)午後六時より學生集會場に於
て開催す。出席者三浦教授、魚澄中村牧富森の諸學士岩
橋森下及び學生諸君なり。先づ本年卒業すべき江藤徵英
君の卒業論文の梗概に關する説明あり。

鎌倉時代の庶民教化

江藤 徵英君

平安朝佛教は形式的教儀的なりしが其末期より鎌倉時代
にかけて個性に立脚したる眞摯なる信仰を喜ぶ事さなり
加ふるに鎌倉時代には宋元に興へる僧侶も多く其影響に
よりても民衆に適せる新宗派を生ぜるなり此宗派の起り
し結果として淨土思想上下に起り殊に下層の民衆にはこ

れに對する欲求甚しく舊宗派に歸依せしものもこれに滿
足せずして新宗派に入りしものあり而して新宗派の中禪
宗日蓮宗は武士に最甚深なる感化を與へたりて新宗派
の僧侶の代表者たる遊行、無住の業績につきて詳説せら
る。

元祿頃の大坂商人氣質と其生計狀態とに

關する實踐方法的考察(第一回) 佐古 慶三君

氏は在來の歴史家並に經濟史家の取れる方針は此命題に
關する限り dilettantismus の五十歩百歩の差異あるのみに
て科學的批判的にあらずしてその一例を圓谷弘氏の『我
國資本家階級の發達と資本主義的精神』に取り同書の史
料取扱方と論斷とを仔細に解説批評せられたり。

北野神社探訪 四月廿三日(日曜日)三浦教授の五月初

海外に赴かるゝ爲め其送別の意を兼ね北野神社に探訪を
行へり、參會者三浦教授今西助教授、古田牧富森鈴木の諸
學士橋川源岩橋島田森下土田中村井川勝峰末岡加藤佐古
中原石川小橋の諸君なり午前九時北野神社に詣で同社務
所に於て三浦教授指導の下に同社所藏の古文書日記畫像
繪馬繪卷等を閲覽せり中につきて重なるものは畫像には

會 報

室町時代の渡唐天神の像注意すべく古文書には同社西京
 神人の特權たる酒麴の專賣に關する文書多數あり文中町
 人にあるは密造者を取締り之を告發する責任者を指せる
 ものにして普通にいふ町人ミ意味異なるが如く酒麴特許
 狀、特權者の名帳、神役帳等參考に資すべし其他片桐貞隆
 の書狀に豊臣秀頼の北野神社に繪馬を寄進すべき旨を記
 せるが文中「秀頼様御字は松ミ申御字に候此一字を被成
 御書入候様にミ申上候」ミありて秀頼の略名が父秀吉ミ
 同じく亦松なりしを證すべく現に此時寄進せし繪馬は同
 社に保管せらる此他室町時代の日記、徳川家康の禁制（慶
 長五年）中に人馬取事ミあるもの、昌琢自筆の書狀等觀る
 べきもの多し終はりて同社前尾張屋にて送別會を開き幹
 事の送別の辭に次ぎて三浦教授の挨拶あり歡談數刻記念
 の撮影をなして夕刻散會せり。

○入 會

東京市芝區車町七五、門良院 松本 芳夫
 (右紹介者 松本信廣)

京都帝國大學文學部史學科學生 三雲祥之助

同 三浦 三郎

同 石川 準三

同 小橋 淺雄

同 中原與茂九郎

同 田中作次郎

同 塙 忠雄

東京市四谷區寺町二二 (右紹介者 那波利貞)

大連市兒玉町六、滿鐵教育研究所 高田 良助
 (右紹介者 田中秀作)

○退 會

東 尙 胤 岡村 英敏

○死 亡

大島 友直

○寄贈交換圖書

現代史觀

三浦 周行

商業ニ經濟 第二冊

長崎高等商業學校研究館

大日本全史 下卷

富 山 房

下野大谷寺石佛繪葉書

丸山 源八

史學雜誌 三三の四、五

史 學 會

歴史地理 三九の四、五

日本歴史地理學會

考古學雜誌 十二の七、八、九、十

考古學會

國學院雜誌 二八の三、四、五

國學院大學

東洋哲學 二九の三、四、五

東洋大學

經濟論叢 十四の三、四

經濟學會

伊豫史談 二九

伊豫史談會

人類學雜誌 三七の一、二、三合冊

東京人類學會

佛教研究

佛教大學

佛教大學論叢

佛教大學論叢社

史 學 一の三

三田史學會